



12月に入って、暖かい日が続きましたが日ごとに寒くなり師走に向かってます。室内の窓を開け新鮮な空気が入ると、子ども達は覚えた体操に合わせて身体を揺らし、朝の集まりが始まります。「おはよう」の部分でおじぎをしたり「手をつなごう」の歌に合わせて2, 3人の友だちと手を繋ぐようになってきました。言葉や歌詞と動作が結びつき、周りの友だちに興味を示すようになり、子どもたちの成長の姿を感じています。

☆シールを貼ったり、剥がしたりしてあそべるようになったよ。



段ボールに大きなシールを貼って遊びました。最初は、台紙から剥がすことが出来なかった子ども達に、方法をくり返し手をとって教えながら保育士も一緒に遊んでいます。指先を使った遊びを喜ぶようになりました。

#### ☆ママ・ミニ・メール(4)

お母さん方に遊びやおやつのレシピ、困った時の対処法など、いろいろな情報をお聞きしました。今回は、本間さんです。

#### おべんとうバス



桜太と、樂が、今はまっているダパンプの「USA」が、テレビから流れると、USAの踊りが始まります。特に「カモンベイビーアメリカ」の所は、2人で手を上下に振って楽しそうに踊っています。樂は、親指を立てて、桜太は手をグーにして、振る姿が可愛いです。

#### ☆大好きな絵本の紹介「おべんとうバス」

ハンバーグくんやトマトちゃん等、お弁当のおかずたちが、バスに乗って行きます。バスに乗る時には名前を呼ばれ返事をします。子どもたちも「はーい」と、返事をしたり手を挙げておかずたちになりきっています。子ども達は本の内容を大体覚えている様で「みんなそろいましたか?」と聞くと、首や手を振って、「まだです」と教えてくれます。遅れてみかんちゃんが乗ると子どもたちも笑顔になります。



#### ☆ズボンに足を通そうとし、履こうとするようになったよ

オムツが綺麗になった後、今までは保育士がズボンを履かせていましたが着脱に興味を示すようになりズボンに自分から足を通そうとするようになりました。片方ずつですが足を入れたりおしりの部分を引っ張って上げようとしています。悪戦苦闘しながらも意欲的な姿に保育士も応援して励ましたり、出来ない所を援助しています。



# すみれぐみだより

平成30年12月10日(月)

今年も瞬く間に過ぎていき、最後の月となりました。平成最後の1ヶ月。子どもたちと寒さに負けずに元気に過ごしていきたいです。



## 「自分でやる!!」

今、子どもたちはズボンを自分ではこうしている姿をよく見かけます。一つの穴に両足入れてしまったり、前後が反対になったりしながらも一生懸命頑張っています。上手にはけた時は「できた」と嬉しそうに笑顔で教えてくれます。「すごいね」「上手にはけたね」と言葉をかけ一緒に保育士も喜ぶと、子どもたちは「自分でできた」と自信へと繋がっていきます。ジーンズやスパッツのようなズボンは、はきにくいようでつまずいてしまうことがあります。私たちはこれからも「自分でやる」という思いを見守りながら、時にはさりげなくお手伝いしたりしながら支えていき、自信へとつなげていこうと思います。

## ☆ パズル ☆

最近のすみれ組はパズルが大好きです。乗り物、動物の型はめパズルや9ピースから30ピースのパズルと様々なものを。時々ピースの場所が分からないときは「これは?」「ここ〜?」と保育士に聞いたり、「ひこうき」「ぞうさん」とピースを1つ1つ保育士に見せ型にはたり。当初は出来なかったパズルが出来るようになっており、子どもたちの成長が感じられる瞬間です。



## ・気をつけよう・

今の季節、感染症が流行しない為に充分注意して「てあらい・うがい」をして、風邪をひかないように元気に過ごしましょう。

## ○ おしらせ ○

12月21日(金)は3歳未満児の生活発表会です。次の日の22日(土)、3歳以上児の発表会です。この日は3歳未満児の保育が困難な為、お休みをしていただくようご協力をお願い致します。

保育納めは28日(金)です。1月4日(金)より保育始めとなります。元気な顔で登園してくるのを楽しみに待っています。

すみれ組担任：草場、有菌



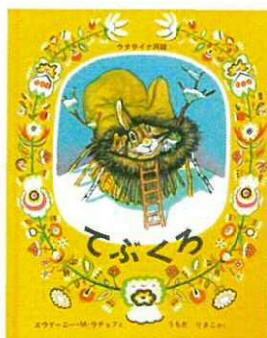
お箸を使ってみましたよ

ままごと遊びの中で、お箸を使ってみました。「これ、パパが使いよるよ!」「使ったことあるよ!」等、興味を持った子どもたちは、早速小さく切ったスポンジや、フェルトのドーナツを掴んでいました。「見て、つかめた」と、とても嬉しそうに何度も掴んで遊んでいました。スプーンを三指持ちできるようになった子どもたちは、お箸でお食事をしてみたいと思います。子どもたちの食べる意欲を大切にしながら、スプーンも準備し無理のないよう進めていきたいと思います



絵本の紹介

「てぶくろ」 作:ウクライナ民話 絵:エウゲーニー・M・ラチョフ



ウクライナのお話です。とても寒そうな雪の上に落ちた暖かそうな手袋をお家にしようと、次々と動物たちがやってきます。動物たちがやってくるたびに「中にいるのは誰?」と確認し、手袋の中の動物たちは名前を言っていきます。そして「入れて」「どうぞ」の繰り返しです。動物たちの声の掛け合いを覚えて、子どもたちも手袋の住人になったように動物たちの会話をまねしていますよ。



12月5日に槻田小学校5年生のお姉さんたちが、ちゅうりっぷぐみに遊びに来てくれました。以前にも交流があったので、今回は、ちゅうりっぷぐみの子どもたちのために、遊びを考えて来てくれました。絵本読みでは、子どもたちの発達に合わせた絵本を選んだもので、みんな集中して聞き入っていました。



お別れの時には、「また来てね!」と手を振って再開を楽しみにしているようでした。

ちゅうりっぷぐみ担任……中村、唐木、崎野

# 12 がつこそすもすだよ!



平成 30 年 12 月 10 日 (月)

今年は園庭の紅葉が見事でした。木枯らしが吹いて赤、黄、茶と色とりどりの葉っぱを散らし、冬支度が始まりました。ランチルームで食事をしながら「先生、葉っぱがなくなったね。」と夏椿の様子を見てきた子どもたちがつぶやきました。早いものではや「師走」です。

「子供は風の子」。子ども達は寒くても「外で遊びたい!」と園庭でかくれんぼをしたり、芝生の上で相撲をしたり元気いっぱい遊んでいます。

## 寒くてもへっちゃらだよ!

いつの間にか園庭から虫の姿を見かけなくなりました。すると、虫探しをしていた子ども達は、恐竜ごっこ・かくれんぼ・お家ごっこ・相撲など絵本の中で見たり聞いたりしたことを遊びに取り入れて遊び始めました。又、砂場でケーキを作ったり、山を作りトンネルを掘ったりと数人で協力して遊ぶ姿が見られるようになりました。



## こそすもすぐみ 16 名...おはしで食べています。

ランチルームで給食の時間になると「給食、美味しい!」「この中には何がはいつとる?」「この魚の名前なに?」と給食の先生を質問攻めにしている好奇心たっぷりの子どもたちです。

16名の子どもたちはいつの間にかお箸を持って食べるようになりました。こんにやくとなめこはちょっとはさむのに苦戦していますが、フォークは使わなくても大丈夫!これからも見守ってね。

## 「ねずみのすもう」

貧乏なおじいさん家のやせねずみと、長者さん家の太っちょねずみが「でんかしょ、でんかしょ」と相撲を取るお話です。いつもやせねずみは負けてばかり。そこでおじいさんは力餅をついてあげました。次の日おじいさんが山へ行ってみると...

## 今月の絵本



## 「はっくしよい」

風邪を引いたルルちゃんはマスクをしたりセーターを着るのですが、なかなか治りません。さて、どうしたら治るのでしょうか?



平成30年12月10日(月) 発行

12月に入り寒い日が増えてきました。クラスから見える園庭の桜の木の葉が赤から茶色へ、そして落ちていく様子を見ていた子どもたちは「冷たい風が吹くから葉っぱが落ちたね」や「もう冬だもんね」と季節の移り変わりを感じていました。園長先生に「葉っぱが落ちる理由は、春になって元気に花が咲くように、栄養が根っこに行くよう葉っぱが協力しているんだよ」と教えていただき、外で遊んだ時に「根っこは地面にあるんよね。きれいな桜が咲くの楽しみだね」と話していました。身近な植物から少しずつ興味が広がり、子どもたちの学びとなっているようです。

### ♪ おむすびころりん すっとなん

生活発表会に向けて、様々な童話の絵本を保育士が読み、子どもたちの表現遊びとなりました。その中で子どもたちと一緒にどの物語にするか話し合い、「おむすびころりん」をすることになりました。初めは保育士がナレーターとして進めていき、子どもたちは自分の表現したい役を選んで遊びました。何度か練習しているうちに子どもの方から「先生がしてる事もしてみたい!」と言い子どもたちが引き受けることになりました。自分なりにセリフを考えながら、言葉に応じた動作もつけるようになっていきます。遊戯室の舞台を使いながら劇をすると、恥ずかしい…と声が小さくなったり背を向けて立ったりしていることもあったのですが、お客さんに見ていただくにはどうすればよいか思い直しながら、自信を持って取り組んでいます。早くも発表会を楽しみにしている子どもたちです。



「(ハナミスキの) 実と落ち葉で顔作ったよ! 後で小さいクラスの子たちに壊されたら悲しいから写真撮ってて!」とお願いされて撮った1枚です。れいなちゃん、そうすけくん、しんごくんが作りました。この作品のように3人は「かわいくできたね」と笑顔で話していました。



### 元気に過ごそう★

冬の乾燥した空気になり、風邪が流行る季節になりました。感染症にかからないためにも「うがい・手洗い」の必要性を保育士が話したり絵本を読んだりしながら伝えています。また、咳やくしゃみをしたときに、手洗いをしたりアルコールで消毒をしたりすることが身についてきています。

今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様からご理解と温かいご支援を頂いて、保育士も子どもたちと一緒に育っています。来年もよろしくお願ひいたします。



4歳児担任：西島・井上



発行：平成30年12月10日（月）

【 わすれられないおくりもの 】

今年生活発表会のテーマは“生きる喜び”です。“生きる”とはどういうことなのか一緒に考えているときに、スーザン・バーレイの『わすれられないおくりもの』という本に出会いました。

何でも知っているアナグマは、野原のみんなから頼りにされ、慕われていました。秋の終わり、年をとったアナグマは、自分の死が近づいていることを悟ります。そして、ある日アナグマは「長いトンネルの向こう側に行くよ。さようなら。」という手紙を残して、死を迎えます。残された動物たちは悲しみでいっぱい、何をすれば良いのか分からず、途方に暮れてしまうのです。やがて春になると、少しずつアナグマが一人ひとりに残してくれた素敵な思い出を語り合うことができるようになります。そして、どんなときもアナグマがそばにいてくれ、たくさんのお話を教えてくれたことを思い出して、アナグマがたくさんの贈り物を残してくれたことに気づくのです。

このお話を読んだとき、子どもたちは「アナグマさん死んでしまったんだね」「みんな、もっとアナグマさんと一緒にいたかったらなあ」と年老いて一人死んでしまったアナグマのことを悲しんでいました。しかし、アナグマが残してくれた知恵や工夫などのものの豊かさで、森の動物たちが元気を取り戻していく様子に、「アナグマさん、死んでしまったけど、ずっとみんなの胸の中にいるんだね」と死んでもなお、みんなの心に生き続ける“命”に胸を熱くさせて話をしていました。

劇遊びを進めていくなかで、それぞれがアイデアを出し合いながら熱い思いを持って役になり、表現をしています。生活発表会では、子どもたちの懸命な姿と温かい思いやりの心を皆様に届けられたら私も嬉しく思います。

♪うんとこしょ♪どっこいしょ♪

5月に植えたサツマイモが育ち、先日芋掘りをしました。「大きなお芋掘れるかな」と楽しみにしていた子どもたち。土の中の芋を傷つけないようにと、手で掘り始めると少しずつ見えてくるお芋に歓声を上げたり、「そっちから掘って!」「みんなで芋の周りの土を掘ろう」と土や芋の感触を楽しみながら、友だちと協力して、夢中で芋掘りをしていました。掘り出された大小さまざまな150個の芋をみて、秋の実に大喜びでした。

芋掘りを終え、きらきらもりもり畑に大根・スナックエンドウ・そら豆の種を植えました。子どもたちは“いつ芽が出るだろう”と毎日楽しみにお世話や観察をしています。日々、風が冷たくなると「寒いと野菜が育たなくなるかも」「寒くないようにテントをつくってあげよう」と話し合っています。子どもたちは、野菜を育てることを通して、野菜に興味を持つだけでなく、育てることへの責任感や意欲、思いやりの心も育っています。



今年も残りわずかとなりました。子どもたちは、年長児としてさまざまな行事や経験を通して、生きる喜びと共に、強く優しい思いやりの心を持った素敵な子どもに育っています。保護者の方々のご協力に感謝しています。ありがとうございました。

来年も、どうぞよろしく願い致します。

5歳児：田村・田中